

内視鏡診断治療システム(内科系)詳細仕様書

番号	品名	数量	仕様等
1	光源一体型ビデオシステムセンター CV-1500	2台	1 5LED採用していること 2 BAI-MAC機能を有すること 3 NBIIに加え、TXI/RDI機能を有すること 4 光源一体型プロセッサであること 5 面順次方式と同時式の2つの内視鏡撮像方式に対応していること 6 病院既存の内視鏡ビデオスコープが接続可能であること
2	上部消化管汎用処置ビデオスコープ GIF-H290T	1本	1 先端部径φ9.8mm、軟性部径φ9.9mmを有しており、かつφ3.2mmの大径チャンネルを有すること 2 送水専用の副送水チャンネル(ウォータージェット機能)が装備されていること 3 140° の広角な視野、高解像な画像を有しており確実な診断が行えること 4 光デジタル法による狭帯域光観察(NBI)が可能であること 5 ワンタッチコネクターを採用し防水キャップ着脱が不要であること 6 湾曲角が上方210° 以上、下方向120° 以上、左右方向共に100° 以上であること 7 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
3	大腸ビデオスコープ PCF-H290ZI	2本	1 拡大倍率110倍以上の光学ズームを備えていること 2 視野角が通常観察時170° 以上、拡大観察時85° 以上あること 3 視野方向が直視であること 4 観察深度が通常観察時7mm以上～100mm以内、拡大観察時1mm以上～2mm以内であること 5 副送水口を有しており、鉗子口以外からでも送水が出来ること 6 有効長が1330mm以上であること 7 鉗子口内径が3. 2mm以上であること 8 湾曲角が上方向180° 以上、下方向180° 以上、左右方向共に160° 以上であること 9 スコープ操作部の手元スイッチにより、画像フリーズ・リリース・プリント等のリモート操作が行えること 10 先端部・軟性部の外径が11. 8mm以内であること 11 スコープID機能を搭載し、オートホワイトバランスやスコープデータのモニター表示が可能であること 12 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
4	気管支ファイバービデオスコープ BF-MP290F	1本	1 視野角が90° 以上あること 2 挿入部回転機能があること 3 視野方向が直視であること 4 観察深度が2mm以上50mm以内であること 5 有効長が600mm以上であること 6 鉗子口内径が1. 7mm以上であること 7 湾曲角が上方向210° 以上、下方向130° 以上であること 8 スコープ操作部の手元スイッチにより、画像フリーズ・リリース・プリント等のリモート操作が行えること 9 先端部・軟性部の外径が3. 0mm以内であること 10 スコープID機能を搭載し、オートホワイトバランスやスコープデータのモニター表示が可能であること 11 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
5	小腸ビデオスコープ SIF-H190	1本	1 ディスポーザブルスライディチューブ(ST-SB1)と組み合わせて使用することにより、小腸深部への挿入が可能であること 2 ハイビジョン対応CCDを採用しており、高精細な画像で診断が可能であること 3 光デジタル法による狭帯域光観察(NBI)が可能であること 4 鉗子口内径が3. 2mm以上であること 5 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
6	バルーンコントロールユニット OBCU	1台	1 圧力自動制御機能により、ディスポーザブルスライディングチューブ(ST-SB1)のバルーン膨張・収縮圧力を一定の範囲にとどめる安全機能がとられていること 2 高い操作性を持つ小型リモコンでの使用も可能であること 3 病院既存の小腸ビデオスコープ、ディスポーザブルスライディチューブと組み合わせて使用出来ること
7	内視鏡用超音波観測装置一式 EU-ME3 CHEソフトウェアオプション(MAJ-2381) ELSTソフトウェアオプション(MAJ-2382) SWQソフトウェアオプション(MAJ-2383)	3台 2式 2式 1式	1 メカニカル走査式と電子走査式のコンバイン型の超音波観測装置であること 2 メカニカル走査式は12MHz、20Mhz 電子走査式は5MHz、6MHz、7.5MHz、10MHz、12MHzに対応可能であること 3 ソフトウェアインストールにより、CHE、C-THEから選択可能であること 4 ソフトウェアインストールにより、拍動もしくは脈動を利用して組織内のひずみ量を測定し、ROI内の組織の相対的な硬さをカラー表示可能であること 5 ソフトウェアインストールにより、音響放射圧により組織を変位させ、組織が元の状態に戻ろうとするときに発生するせん断流の伝搬速度を計算することにより、組織の硬さに関する定量的な情報を表示可能であること 6 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
8	プローブ駆動ユニット MAJ-1720	2台	1 メカニカル走査方式のミニチュアプローブと接続可能であること 2 病院既存の超音波プローブに接続可能であること

内視鏡診断治療システム(内科系)詳細仕様書

番号	品名	数量	仕様等
9	超音波ガストロビデオスコープ	1本	1 周波数は、5/6/7.5/10/12MHz切り替え可能であり、診断部位の形状、大きさにより使い分けができること
	GF-UE290		2 視野方向が前方斜視50°であること
			3 ドブラ機能により、血流動態の把握が可能であること
			4 超音波画像が抽出でき、生検が行えること
			5 電子ラジアル走査方式を採用しており、広範囲360°の走査・表示が可能であること
			6 鉗子口内径が2.2mm以上であること
			7 病院既存の電子内視鏡システム、内視鏡洗浄消毒装置に接続できること
			8 既存の超音波観測装置に接続できること
10	取付ケーブル等	1式	1 上記の機器の機能を発揮する上で必要なケーブル等を準備すること
	MAJ-2477他		2 病院既存の機器と接続する場合に必要なケーブル等を準備すること